

# 憲法をいかし、安心の医療・介護を求める 国会請願署名

## 請願趣旨

深刻化する受診中断と手遅れ死亡事例、介護地獄、引き上げ続けられる保険料と患者・利用者の負担……。社会保障の連続改悪で、医療や介護に対する人々の不満と不安は膨らみ続けており、もはやガマンも限界です。憲法をいかし国の責任で、すべての人に安心の医療・介護を保障することは緊急課題です。それこそが政治が果たすべき本来の役割です。

ところが、社会保障制度改革国民会議の報告書や政府が検討している施策は、医療・介護保険料のさらなる引き上げや公的保険範囲の縮小、国の責任を棚上げする国保の都道府県単位化など、人々の願いに逆行する内容となっています。背景には、社会保障を国民の権利から自己責任に変質させた「社会保障制度改革推進法」の存在があります。これでは、将来不安は増すばかりであり、日本経済の再生もおぼつきません。高齢者や弱者いじめの消費税ではなく、大企業や富裕層に応分の負担を求めてこそ、社会保障の充実は可能です。

以上の趣旨から、下記項目の実現を求めてお願いいたします。

## 請願項目

- 1.70歳以上の窓口負担を引き上げないでください。医療・介護の保険料と自己負担を引き下げてください。また、低所得者などへの減免制度を拡充してください
- 2.「要支援」などの保険外しを止めるとともに、医療・介護を営利企業の金儲けの場に変えないでください。国の責任と公的保険で、すべての人に安心の医療・介護を保障してください
- 3.社会保障の公的責任を放棄し、個人の責任に変える「社会保障制度改革推進法」を廃止してください。消費税の増税ではなく、大企業や富裕層に応分の負担を求めることで必要な財源を確保してください

お名前	ご住所

中央社会保障推進協議会

〒110-0013  
東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館5F  
TEL.03-5808-5344  
FAX.03-5808-5345  
E-mail:k25@shahokyo.jp

全国労働組合総連合

〒113-8462  
東京都文京区湯島2-4-4全労連会館4F  
TEL.03-5842-5611  
FAX.03-5842-5620  
E-mail:webmaster@zenroren.gr.jp

全日本民医連(全日本民主医療機関連合会)

〒113-8465  
東京都文京区湯島2-4-4平和と労働センター7F  
TEL.03-5842-6451  
FAX.03-5842-6460  
E-mail:min-iren@min-iren.gr.jp